キラッと光る技術で勝負する地域企業の取り組みをご紹介します。

平成 30 年度

元気企業だより

～がんばれおおむた企業！元気発進！！～

<紹介企業>

- ◆九州車輌販売有限会社
- ◆室町ケミカル株式会社
- ◆株式会社四郎國光
- ◆有限会社パン・ド・ミー
- ◆株式会社アスカインデックス

～補助金獲得、技術相談など、企業活動を支援します～

発行：公益財団法人 大牟田市地域活性化センター

ＴＥＬ：0944（56）1717
Email：info@ecosanc.or.jp
ＵＲＬ：http://www.ecosanc.or.jp/tiiki/

詳しくはHPで！→

元気企業だより 2018 Part1

自転車が、好き！
九州車輌

“時代の先を読む”取り組みで、不動の地域 No.1 店！！

「自転車といえば九州車輌！」といっても過言ではないほど、大牟田市民にお馴染みのお店ではないでしょうか。

自転車業界ではこの 10 年、人口減少と技術者不足などの問題から小売店の店舗数は毎年減少しています。また大牟田市では、量販店の進出や、ある日本最大級の自転車販売店の出店など、厳しい競争がありました。そんな時代でも、同社は、常に“新しい取り組み”と“徹底した顧客サービス”で地域 NO.1 店を守り続けられています。加えて、小型充電式電池のリサイクル活動を推進する(一社) JBRC が実施する「リサイクルパワーアップ」において、小型充電式電池の回収量が 8 年連続福岡県トップになるなど、環境にやさしいまちづくりにも貢献されている 次期 3 代目社長の本店店長、山本一成さんにお話を伺いました。

会社の歩み

父である現社長が常盤町の店舗を切り盛りし、現在にいたっています。

ここはもともと映画館でした。映画館の座席の形状を利用し、階段状に大量の自転車を展示しました。その頃は 10 畳程度の展示スペースのお店がほとんどでしたので、この大型展示は大変珍しく、これが発展のきっかけだったと思います。現在も約 600 台を展示しており、台数は福岡県南部 NO.1 です。

生き残りのポイント

“徹底したニーズ対応“ と ”新たなチャレンジ“ だと考えています。

量販店は“一番売れるもの”しか売らない傾向にあります。当店では、量販店では扱わないようなシルバーカーや 3 輪自転車なども充実させ、地域の幅広いニーズに細かく対応しています。当店はプロの整備士が常駐し、パーツの組み合わせなど多様なニーズにお応えするとともに、“買っていただいた後が大切”と考え、アフターサービスを徹底しています。

また、お店でお客様を待つだけではなく、試乗会を積極的に行ったり、数年前からは YouTube で自転車紹介の動画を配信する取り組みも始めました。

YouTube 動画再生回数１００万回突破！！

昔は小さい頃から自転車に乗ったものですが、今は学校の規制で小学 1 - 3 年生の間自転車に乗ることができません。学生の減少で主力の通学自転車の販売台数も減る中、専門店の強みを活かして、スポーツ自転車に力を入れようと考えました。

全国的にスポーツ自転車の人気が高まってきていたものの、「興味はあるけど、何の知識もないまま専門店に行くのは不安」という声があり、そんな方にスポーツ自転車の良さを知ってもらい、気軽に足を運んでもらうため、初心者の方に分かりやすい紹介動画を作り、2015 年 9 月から YouTube で配信を始めました。撮影の機材は国の補助金を活用して充実させ、改善を重ね、今では動画数は 100 本以上になり、今年の 4 月に 100 万回アクセスを突破しました！動画を見て、遠方から来店される方も増え、スポーツ自転車の売り上げは動画配信前と比べ 2.5 倍に！また、事前にある程度の知識を持って来店されるので、接客時間も短縮されるというメリットもありました。

これからやりたいこと

YouTube の動画を観光 PR に使えないかと…。宮原坑などの観光スポットを背景に作成することで大牟田の PR に繋がればと思っています。

また、2018 年は各メーカーから、電動アシストタイプの高級スポーツ自転車（e-bike）が続々と発売される「e-bike 元年」と言われています。いち早く試乗車を用意し、動画配信を活用して「e-bike といえば九州車輌」と言ってもらえるよう頑張ります！それで大牟田に来てくれる人が増えたらうれしいです。地域に貢献しながら、常に新しいことにチャレンジし続け、100 年企業を目指します！

会社概要

九州車輌販売㈲
住所：福岡県 大牟田市常盤町 1-8
TEL：0944-56-1122
MAIL：shop@kyuusyuusyaryou.com
（本店店長 山本一成）

室町ケミカル株式会社
MUROMACHI CHEMICALS INC

決して平坦でなかった… 紆余曲折を乗り越え“創立 100 周年！”

今回の元気企業は、明治の創業以来、医薬品を中心に事業を展開し、この 20 年で健康食品、化学品、機能材料などの製造販売を手がけるメーカーとして、年商 10 億円から 50 億円へと大きな飛躍を遂げた「室町ケミカル㈱」です。

２つの世界大戦、そして戦後と激動の時代の中歩んできた 100 年は決して平坦な道ではありませんでした。しかしその都度、経営理念にも掲げている“チャレンジ精神”で困難を乗り越えてきた室町ケミカル㈱の 100 年の歩みとこれからの 100 年に向けた想いについて、副社長の服部英法さんにお伺いしました。

戦争、廃業、そして救い、いろいろあった 100 年

村山製薬（福岡県須恵町）

正明膏（貝殻目薬）
「須恵町立歴史民族資料館収蔵」

明治の中頃、福岡県須恵町において、黒田藩医であった田原養仙先生の名薬「正明膏」（別名：貝殻目薬）を譲り受け、個人商店「村山製薬」にて製造販売を始めたのが創業です。その後、大正 6 年に最初の会社を創立し、昭和初期には家庭医薬品の製造メーカーとして朝鮮・台湾と海外へも販路を拡大していましたが、第 2 次世界大戦が勃発、一時は廃業せざるを得ませんでした。戦後、再び事業にチャレンジし、新たな事業として医薬品の他にヨーグルト等の食品製造部門も始めたのですが、ところが今度は、甘味料チクロの有害説がアメリカで発表され、使用禁止になってしまったのです。順調だった食品部門は、製品を作ることができなくなり閉鎖、社長は廃業を考えたそうです。しかし、それを同級生のムロマチテクノス㈱（旧室町化学工業㈱）の社長に打ち明けたところ、同社の資本と製品の一部を譲り受けることになり、昭和 46 年に「ムロマチグループ」の一員として再スタートを切ることになりました。そして平成 8 年、福岡市の都市計画により工場移転を迫られることになり、大牟田市に移転したのです。社名も現在の「室町ケミカル㈱」に改称し、工場増設も叶い、順調に業績を伸ばすことができました。

この 20 年で年商 10 億から 50 億へ

うまく時代の”波“に乗れたのだと思います。平成 17 年、世間は空前の健康ブーム。ヨーグルトを作っていた頃の社名を復活させ「天洋社薬品㈱」を設立し、健康食品事業を始めました。携帯しやすく、水がなくても摂取できるよう、ゼリーという形状にこだわり、「ウコンゼリー」をはじめペット用ゼリーなども販売する他、OEM（受託製造）も行い、年商 20 億円を売り上げることができるようになりました。

ウコンゼリーのテレビ CM

もうひとつの“波”は「国の医療費対策」です。国民医療費は年々増加し、今や 40 兆円を越え国の重要な課題となっています。その対策としては、国が価格の安いジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用を推進したため、一気にジェネリック医薬品の需要が加速したのです。それにより創業当時から行ってきた医薬品原薬の製造、輸入販売が伸び、年商 20 億円となりました。健康食品・医薬品いずれも、長年培ってきた技術とノウハウが時代に合わせた“チャレンジ”により大きく飛躍することができ、大変嬉しく思います。

また平成 23 年には、ディーゼル排ガス処理用の尿素水工場を新設し、“AdBlue®”の認証を取得。業務用アロンアルファの販売などを合わせたこれら化学品事業がもうひとつの柱となり、平成 26 年には親会社であったムロマチテクノス㈱を吸収合併し、“新生”室町ケミカルグループをスタートすることができました。

“抱負” これからの 100 年に向けて

医薬品、化学品及び健康食品メーカーとして、「お客様第一主義」を基本にお客様ニーズを満足させる開発力と技術力、さらに生産力にも磨きをかけるとともに、各事業分野での新規テーマに積極的にチャレンジし、日本だけでなくアジアにも積極的に進出していきたいですね。　また、大牟田市の企業として、大牟田市動物園内に整備予定の「絵本ギャラリー」への寄付金贈呈や、各地区の「こども食堂」に食育の一環として当社の健康食品「青汁ゼリー」の提供を行うなど、今後とも地域貢献活動を続けていきたいと思います。

会社概要
室町ケミカル㈱
住所：福岡県大牟田市
新勝立町
1 丁目 38 番 5
TEL：0944-41-2131

元気企業だより 2018 Part 3

株式会社四郎國光

およそ 230 年前　江戸は田沼意次の時代から続く刀匠一門が大牟田に！！

左 安光氏、右から順に國天氏、國光氏

ここ数年、名刀を男性に擬人化したオンラインゲーム「刀剣乱舞」をきっかけに、各地の刀剣展に「刀剣女子」と呼ばれる女性達が押し寄せるほどの刀剣ブームが到来しているようですが、ここ大牟田に 200 年以上も続く刀匠の一門が居ることを知っていますか。しかも、5 人もの刀匠を有するという全国でも稀な一門なのです。

今回は、倉永に鍛刀場を開いてる 株式会社四郎國光の刀匠、安光、國光、國天の御三方にお話を伺いました。

大変な歴史で、途切れなく引き継がれていますが・・・

現在のところでは、江戸期天明６年（1786）には既に刀鍛冶として創業していたことは判っているのですが、名前が判明しているのは文化年間（1804～1818）の武藤平七からです。二代目・久広は、柳川藩お抱えの刀鍛冶として活躍しました。明治になり、久広の長女シエが小宮家に嫁ぎます。その六男・小宮四郎が四代目を継ぎ、長男國光を生むのですが、國光は幼くして亡くなってしまいます。そこで四郎は、長男を偲んで小宮四郎國光と名乗るようになったのです。これが初代の小宮四郎國光です。

実は、ここ三池の地には、平安時代後期に活躍し、天下五剣の名物で前田利家重宝の国宝「大典太光世」や、重要文化財で家康の愛刀「ソハヤノツルキウツスナリ」を作った「三池典太光世」というすばらしい刀匠がいました。彼が作った刀の切れ味は、太閤秀吉も驚いたといいます。四郎はこの「三池典太光世」にあこがれて、大正３年、柳川から三池に転居したようです。三池典太の作刀を理想として掲げた刀鍛冶が、小宮家「現四郎國光」なのです。昭和 14 年に開催された刀の切れ味や美しさを競う『全国刀試し切り大会』では、当時日本一と評された名刀『虎徹（こてつ）』と共に決勝に進んだ先代 四郎國光の刀は見事優勝し、切れ味日本一の称号を手にしました。

刀匠の世界とは？

現在国内に 300～350 人の刀鍛冶の資格を持った者が居ます。この資格を取得するには、刀匠の下で５年以上修行した後、刀匠と登録審査委員２名以上の推薦を受け、文化庁が主催する研修会で実際に作刀をして審査を受けなければなりません。また、資格が取れたからといって終わりではありません。刀の作り方は、鋼のわずかな成分の違い、その日の温度、湿度などの環境変化によっても微妙に変わります。刀匠の世界では「炭切り３年、向こう槌５年、鍛え一生」と言う言葉があるように、一生修行が続くのです。

ここ四郎國光では、技術の継承のため、年に 30 振りほど作っています。刀は我々が作る刀身の他に、各専門の職人が作る柄、ハバキ、鍔などの拵え（外装）と相まってその魅力を増す事になります。

最近の取り組み

今年、戦後ＧＨＱに接収され、赤錆だらけとなっていた柳川生まれの「鬼塚吉国」の修復プロジェクト（たーんとよかとこ協議会主催）が始まり、当社も修復に協力しています。31 年２月には三池カルタ・資料館で展示予定ですので、ぜひご覧ください。

また、現 四郎國光は、日本美術刀剣保存協会が毎年開催する「新作刀展」で、２９年に同協会会長賞、３０年には、高松宮記念賞につづく薫山賞を受賞しました。

薫山賞を受賞した四郎國光作の刀

今後の抱負

昨今の刀ブームで、イベントを開催すると北海道や沖縄など、全国から来場者が訪れます。大変うれしいことですが、ブームに終わることなく、世界に誇れる伝統ある日本刀の魅力を発信していくために、刀の鍛錬にまい進していきたいと思っております。同時に大牟田の発展のために寄与していきたいと思います。

会社概要

㈱四郎國光

住所：福岡県大牟田市大字倉永 105-1

TEL：0944-58-1340

元気企業だより 2018 Part 4

㈲パン・ド・ミー

地元の人で賑わう人気店には“笑顔が集まる”理由があった！！

フワ～ッと香るパンの香りにつられてお店に入った、という経験はありませんか？？あまく優しい焼き立てパンの香りは、人を幸せな気持ちにさせてくれますよね。2003 年、大牟田市通町に 1 号店をオープンすると、あっという間に人気店となった「どんぐりの樹」。2011 年には荒尾店、2015 年には柳川店をオープンさせ、いずれも地元の人気店となっています。

今回は“笑顔とあたたかい思い”でパン作りに取り組み、大牟田を軸に成長を続ける「どんぐりの樹」の経営者、㈲パン・ド・ミー 代表取締役 金森信吾さんにお話を伺いました。

1 号店オープンに至るまで

もともと、祖父の叔父が大正 3 年から大牟田市で「鳳来軒」というパン屋を経営していました。祖父の代には学校給食のパン工場として成長し、父の代にはリョ―ユーパンの協力工場や、大型スーパーのニコニコ堂で 6 店舗を経営していました。しかし、ニコニコ堂が閉店、2003 年にはリョーユーパンも内製化を進めたため契約が終了します。それを機に、思い切って卸製造のパン工場を閉鎖し、以前からやりたかった“焼きたてパン”の店を開業することにしたのです。

名前の由来

大牟田市の木「くぬぎ」は広い意味では「どんぐり」とも言います。少しでも大牟田市の力になれたら、という思いで名付けました。社員も地元高校の卒業生がほとんどで、開業メンバーは今では立派な職人に育ち、リーダーとして支えてくれています。また、「食パン」はフランス語で「パン・ド・ミー」。私には“食パンが美味しい店が本物”という思いがあり、それを叶えようと社名を「㈲パン・ド・ミー」としました。

焼きたてパンへのこだわり

私は大学卒業後、大丸デパートのリテールベーカリー（お店でパンを焼き提供する店）で働いた経験があります。鳳来軒では卸製造がメインだったのですが、工場での製造は、材料や種類などどうしても制限されることが多く、またお客様の顔も見えません。それに対して、リテールベーカリーではお客様の反応を直接見ながら、材料も種類も細かに対応することができます。何より一番美味しい状態でお客様にお届けすることができる“焼きたて”にこだわったお店がしたかったのです。

ただパンを売るだけじゃない！！

私は「おいしさと共に愛情を届ける！」を経営理念としています。“焼きたて”にこだわったのも、本当に美味しいパンを食べていただき、笑顔に、幸せな気持ちになっていただきたいからです。ただ販売するのではなく、笑顔で接したり、ちょっとした心遣いをすることで、皆さんに気持ちよく笑顔で帰っていただけるよう心がけています。また、“地元の食文化に根ざしたパン屋”でありたいと思っています。以前「鳳来軒」でミニクロワッサンが人気になりましたが、一時のブームとして終わったのを見てきました。私は奇をてらった一過性のものではなく、地元の方の日常生活に寄り添うパン屋を目指し、食パンやフランスパン、調理パンに力を入れています。

“３たて”と“商品開発”の徹底で人気店へ

当店では、商品ごとの売れる時間帯や数などを把握し、常にできるだけ美味しい状態で提供できるよう、“焼きたて”“揚げたて“ ”作りたて”の「３たて」を徹底しています。

また、常にお客様のニーズに向き合うため商品開発に力を入れており、毎年８０種類ほどの新商品を提供しています。人気商品は「金のメロンパン」と「杵つき食パン」。全ての生地を餅用の杵つきミキサーで練っているので、食感がモチモチ、口溶けがよいのが特徴です。加えて、金のメロンパンは表面が焦がしバター風味でカリッとしているのが美味しいと好評をいただいています。

今後の抱負

創業者から私までパン屋を受け継ぎ、今年で１０５年になります。

これからも地域密着で、お客様に“美味しさと笑顔とワクワク感を提供できるパン屋”としてあり続けたいと思います。

スタッフ一同、これからも末永くよろしくお願い致します。

会社概要

㈲パン・ド・ミー

住所：福岡県大牟田市
通町 1-5-8

TEL：0944-55-5300

株式会社アスカインデックス
ASK INDEX 九州テクニカルセンター

中古装置に新たな命を吹き込み、顧客満足度 100%プラスαをめざすアスカインデックス!!!

今回は 2017 年、四箇新町のテクノパークに進出。約 2,300 ㎡の賃貸クリーンルームを設置し顧客の初期投資負担の軽減に貢献するなど、BtoB（企業間取引）において高品質な商品とサービスを提供したいとの思いを、創業以来一貫して実践している株式会社アスカインデックスを紹介します。

常務取締役でもあり、九州テクニカルセンター センター長の萱沼正夫さんにお話を伺いました。

会社の歩み

創業者である現社長（田中礼右）は、製造会社に勤めるサラリーマンでした。１９９５年、東京都港区に株式会社アスカインデックスを設立し、記録メディア製造材料の販売を開始しましたが、営業の過程で中古機械の購入、整備、販売を手掛けるようになり、今日ではこれが柱の一つになっています。

また半導体業界、液晶業界、医薬業界向けの取り扱い装置が大きく伸びてきている中で、クリーンルーム環境から切っては切れないニーズがあり、今ではクリーンルームの建設が二本目の柱となりました。

なお、弊社では、山梨県甲州市、都留市、福岡県大牟田市及び台湾の国内外に大規模の展示場を完備し、装置から事務機器まで４万点以上の商品の状況・品質をお客様がご確認出来る状態で展示しているのが特徴です。台湾には、２００９年中古設備の海外需要に対応するために進出し、２０１７年には展示場の増床を実施致しました。さらに昨年より、ヤフオクや海外サイト eBay でのインターネット販売を開始しております。

クリーンルームビジネスの特徴

クリーンルームは専用建築物と内部設備・機器から構成されています。クリーンルームの廃棄時には数々の中古設備・機器が発生します。これら中古設備の性能を確認したうえで販売することは無論ですが、新規のクリーンルームを建設する場合、一部中古設備を利用することで建設費の大幅な削減が可能になります。企業にとって、新製品の研究や開発・試作に自前で高額なクリーンルームを建設することは資金的に大きな負担とリスクを抱えることになります。そこで、昨年大牟田市に建設したクリーンルームは「賃貸」にして、企業様の初期投資の軽減に貢献したいと考えたのです。

大牟田市に進出した経緯

九州は半導体アイランドと呼ばれておりクリーンルームの需要が見込めると考え、西日本地区の拠点となる場所を探していました。当社は熊本、鹿児島に主要な顧客を抱えており、当初熊本での建設を模索していました。しかし、土地の購入が難航している中、熊本地震が発生するなど進捗に支障が生じたとき大牟田に適当な物件があるとの情報を得、調査したところ九州自動車道南関 IC から車で 1 分と交通の便もよく、大牟田市への進出を決定しました。

“プラスα”のこころとは？

クリーンルームの施工だけではなく生産現場の気持ちがわかる装置に精通した専門スタッフ（技術屋）による現場との細かい調整、データ化されたクリーンルーム、中古装置等のすべての情報を駆使した素早い顧客対応など、幅広い分野の実績に基づいて顧客へ寄り添う仕事を実施するという事です。

今後の抱負

大牟田市に進出して、早２年になります。昨年フロアー２５００㎡を増床致しました。

一歩一歩確実なビジネス展開を追行し、九州産業界にお役に立てる、なくてはならない企業として、成長していきます。

九州テクニカルセンター長
萱沼 正夫 氏

会社概要
㈱アスカインデックス
九州テクニカルセンター
住所：福岡県大牟田市
四箇新町 1-5
TEL：0944-41-3117